

<日時>

令和2年7月28日(火) 10:00～11:00

<出席者>

羽島市教育委員会 教育支援センター所長補佐  
学校運営協議会委員 14名

<内容>

1 授業参観

廊下から、密にならないように、間隔をあけて参観する。

2 委員の委嘱

委員一人一人へ委嘱書を渡す。

3 校長あいさつ

本年度第1回目ようやく開くことができた。新型コロナウイルス感染症のこともあり、本日は1時間以内で終了できるように進める。

4 委員長の決定

規約第10条、第1項にあるように、事務局より、委員長には関委員、副委員長には校長を推薦、他の委員の賛同により決定。

5 本年度の経営方針と重点についての説明

<校長>

本年度の学校経営方針について説明。コミュニティ・スクールであることを中心に据えた。

学校評価は、経営方針をもとに計画した。

昨年度の3月より、約3か月間臨時休業日となった。

卒業式は、在校生の出席はなし、来賓も教育委員会とPTA会長のみとした。

始業式、入学式は4月7日に行った。入学式も、在校生の参加はなしとした。

休業中の児童への対応は、家庭訪問で、課題を渡して、回収する方法を行った。

5月には、オンライン会議アプリを使用して、学級活動を行った。

職員は、可能な限り在宅勤務を行った。出勤するときも、学年で分けて時差勤務とした。

学校再開後は、昨年度より授業時数が多くなり、6時間授業や週に一度7時間授業

毎日消毒、健康チェックカードによる健康観察の実施

給食は前を向いて、会話なしで食べる。

掃除は、一日の最後に行い、消毒作業を同時に行えるようにした。

<委員>

休みが短くなる、1日の授業時間数が多くなる。先生方の負担が多くなっていないか。

<校長>

消毒や掃除等の今までにはない業務が増えているが、掃除を最後にして消毒作業を同時に行えるようにするなど、できる限り効率的に仕事が終われるように工夫している。

<校長>

様々な学校行事や地域行事が中止になる中、修学旅行については、ぎりぎりの判断を迫られている。感染が収まっていたが、この一週間ほどで、感染が広がってきている。読むことができない。

羽島市教育委員会からは、日帰りにする、目的地は感染状況を踏まえて判断するよう案が出ている。

本校では、夏休み明けに旅行業者と相談して、目的地を決定する。移動手段は、感染リスクがより少なく、急な変更にも柔軟な対応がしやすいといった理由で、新幹線での移動より、バスでの移動を行いたいと考えている。

<委員>

意見には賛成で、6年生の児童のことを考えると、修学旅行に行くことができるようにしてあげたい。

<委員>

インターネットを通しての授業など、他国に比べ大変遅れていると聞くが、現状はどうなっているのか。

<所長補佐>

今年度中に、ギガスクール構想として、タブレットパソコンを一人一台ずつ配備、家庭のネット環境は違うが、家庭での学習も可能となる。その他、各校へ備品や消耗品を購入できる補助金を活用する。

<所長補佐>

授業の様子を見ても、児童はとても頑張っている。コロナ対応と同時に熱中症への対応もこれから大変となる。何か気になったことがあったら、すぐに学校へ連絡をいただきたい。

## 6 閉会のあいさつ

<委員長>

地域の行事や学校行事が中止になってしまったが、少しでも学校に協力していけるように人力をしていきたい。

## 7 次回の開催

2月10日(水) 11時より